いわき民報
發行所 平市田町48 電381 176 1222 いわき民報社
編集兼印刷發行人 田原登

學校新聞 PTA新聞 機關紙
新聞印刷専門の本社印刷部を御利用下さい
いわき民報社 電一二二二

鎌田山水道の可否

現水道の水量果して不足か

鎌田山の上水道計畫は必要以上の浪費だと市民の間に相當強い反對の聲が上つている、地方税法の改正で固定資產税や市民税などゴツソリ一度に取られるのだから、二千万円という巨費を要する水道計畫を市民が鵜呑みに出來ないのも無理はない、現在の水道で間に合うなら何んとか間に合せて、一錢でも税金を輕くしたいというのが市民の心境だろう、今度の擴張工事には縣費も國庫からも一錢も補助が無く、全額市民の負擔に依つて賄うというところに關心が拂われているのである

建設に反對している主なる理由は、昭和七年の擴張工事の際取水量四個三分の契約に成つて居り、六万人の市民を優に賄うに足りる、市當局はこの契約を無視し故意に二個六分より取水量がないと固執し、殊更に配水量を尠くして擴張工事を起しているのだと

市當局の不正實を非難し、現在の水道施設で市民の使用水量は充分だというのである

これに對して市當局は、好間川よりの取水量は二個六分の契約で、四個三分は間違いだ、現在二個六分以上の水を取入れ、多少の減水はあるが、二個六分の水を殆んど配水しているが、人口の増加や工場の使用量増加に依つて絶對量が足りなく成つたのだ、擴張工事をしない限り市民に充分の配水が出來ないから擴張工事を起したのだ

と文字通り水掛論の觀があり市民を尠なからず迷わせている

ただ此處で問題になるのは市民が水不足を訴えるように成つたのは、鈴木市長が就任して間もない頃からで當時沈澱池の洩水が原因であると磐城土建の強口氏が請負い、龜裂個所の補修工事に追加を併せ三十七万円が投じたが一向きき目が見えず、以前として水不足が緩和されぬため、更に九十万円の豫算で沈澱池の砂取替えを計劃し、現在まで三カ所完成、近く四ツ目の沈澱池の砂を替えることになつている、前記の如く水不足を當初は沈澱池の龜裂が原因の如く、次いで沈澱池の砂を取替えぬため、配水池へ水が來ないのだと市會に報告しながら、今度は配水池へ二個六分來ているのだが、使用量の自然增加で絶對量が足りないのだという、最初から八幡小路の配水池へ二個六分來ているのなら、龜裂補修に當時の金で三十七万円投じたり、九十万円で砂の取替えも必要が無かつた譯、此處に今度發表のむじゆんがあり、疑惑の目を向けられる原因がひそんでいる

洩水は全く無いよ

大塚課長のチグハグな辯

市の大塚土木課長は、二十七日記者に對し

沈澱池の洩水は五馬力のポンプアップに依つて零點三立方尺補給しているから、殆んどカバー出來ている、從つて八幡小路の配水池には完全に二個六分の水量が來ているし、沈澱池から配水池間の洩水も認められないと斷言しながら『八幡小路の配水池に二個六分の水量が來ているという確證を擧げ得る計量器がついているか』という質問に對しては三個の機械のうち二個が壞れ、殘りの一個も三十年前に作られた英國製のもので正確な數字は出ない、二個六分來ているというのは、ろ過池から完全に二個六分送水され、途中の洩水は斷じてないから、配水池へそのまま流入されていると思う

という莫然たる考え方のようである、更に『二個六分配水池へ送水しているとせば深夜の十二時から午前四時までに配水池に水が充滿するという專門家の算定のようだが深夜にはどの位貯水されているか』との質問に對し

配水池の水はいくらも溜らないそれは、一般に水が不足なので工場とか風呂水など、深夜に取入れるのがあるからだ

と深夜の使用量が多いことをかこつていた、土木課長の意見を綜合すると、すべてとつてくつつけたような印象を受けたのは遺憾である

水道施設の經路

▼工費二千万円—內起債四百万円（國庫補助無し）
▼建設場所—平市大字鎌田（舊神谷村鎌田山第二中學校附近）
▼取水數量—每秒二個、現水道の二個六分と併せ六万人の配水量とする（現水道二個六分を固執）
▼上水方法—伏流水式、夏井川の河底へコンクリートの土管を差込み、河底を流れる伏流水を取入れ、電力で上水する
▼四百万円の起債は認可濟み、既に借入れて十吋及び六吋の鐵管を購入している
▼工事施行の許可申請書は縣を經由して厚生省へ提出中なるも未だ許可に歿せず從つて着工していない
▼夏井川の水質檢査は平保健所を經由、縣へ提出中
▼河川使用並に河水飲用の許可濟（縣）
▼完成すると新たに向鎌田地區百五十戶と谷川瀨の一部へ給水する豫定

……の告發問題の調査に着手した福島地檢山本次席檢事は二十六日に引き續き二十七日には當の告發人平市會事件調査委員會副委員長高木喬市議の出頭を求め、セメント、ガラス、原木、瓦、クギ等の處置、其の行方等について聽取すると共に神中組總務部長佐藤雄志、市土木課員星章、石井正明の三氏からも當時の實情を聽取した、なお山本檢事は原木の購入先岩代熱海方面の現地調査は既に完了、原木の行方を巡り鋭い追及が爲される模様である

錦臨時町會

錦町では二十八日午前九時より臨時町會を招集し左の議案を審議可決した

一、錦警察署員恩給條例一部改正の件
一、二十五年度追加更正豫算の件

原案を可決す

小名濱臨時町會終る

小名濱臨時町會は二十六日午前九時四十分より開き磐城共立病院組合會議員に菅原議長を選舉、警察吏員公會敷地として大字岡小名字高田八十番地の宅地四十五坪、中學校庭內家屋移轉地として字蛭川南八十一番地の七十五坪の土地買收（價格は町長一任）、警察吏員公舍として平家建廿五坪五合の一棟二戶を警察後援會よりの寄附採納、町税條例一部の改正をそれぞれ原案通り可決、協議會に移つて第二中學校建築委員に古港、中島地區の選出議員十七名を選び委員長小野務平氏、副委員長江尻臨三郎氏を互選、また水道配水管埋設工事の年度內施行を承認した、この工事は松の中鹿島神社前より千八百米延長しようと云うもので林の上部落並に日本水素辨別社宅までの給水計畫、工費は二百六十四万円（日本水素廿六万円負擔）である

關係者召喚

一小校事件

昨報＝平第一小學校不正事件

三範士臨席の下 劍道大會開く

來る一日盛會を豫想

磐城劍友倶樂部の第一回劍道大會は來る一日午前九時から平地區警武德殿で盛大に擧行するが出席劍士は水戶市から佐藤信雄、小澤武兩範士、福島から中川震次範士、地元から新妻貞次郎、柏原榮純、齊藤光政、三森芳重各錬士を始め郡市下から約八十名、三名を一チームとしてトーナメントで試合を行うが成績優秀者には表彰狀を授與する、約十年振りの大會で猛烈な竹刀の打合う響きで堂內を壓する盛觀を豫想される

起訴內容を全面否認

押掛事件公判開く

去る五月二十二日內郷自由勞組、平自由勞組員約一百名が平職安所に押かけて檢擧された內郷自勞組長川端助松（二八）同執行員佐久間嘉代治（二四）書記長高萩義政（二四）組合員安藤廣（一八）同渡邊良雄（三二）加藤ケサノ（二八）平自由勞組長野崎峰（一九）組合員會川良平（二六）同長岡清（三八）並に川端、佐久間、野崎ら三名の公務執行妨害、川端の暴行、安藤の脅迫に係る第一回公はんは二十八日午前十時半から地裁平支部で猪狩判事、高橋、石川檢事係り、大峰辯護人、鍋內、中澤兩特別辯護人立會いで開廷、裁判長猪狩裁判長から被告人の人定訊べに次で石川檢事が起訴狀を朗讀後、川端被告人が發言台に立ち起訴內容を聞いていると知らない事ばかりあり、この事件は一方的に職安所側のデッチ上げである、事務に差支えるから出て行つてくれと職安所長に命令された事はない、又外に出るとか我々を殺す氣かという事は云つた事實はないと全面的に否認した、次いで佐久間も否認し午前中の公判を打切つた

共產黨員の馘首反對

磐炭勞鑛連に抗議文

重要十三產業に對し共產黨員及びその同調者追放が傳えられている折柄、磐炭勞執行部では廿七日午前十時半から平市勞働會館に執行部會議を開き、民主社會にあつて暴力行爲破壞主義には當然反對だが憲法と勞基法に違反して共產黨員たるの故で馘首する暴擧は認められない、かかる行爲に出た場合は吾々は斷乎組織をあげて戰う旨の抗議文を東部石炭鑛業連盟に手交することに決め、各支部に連絡すると共に同日連盟に手交した

實父の妾宅を散々荒す

鐵棒振つて

平市字下平窪農機具商富樫太一（一七）は二十四日夜實父佐太郎（六六）に意見されたのに憤激、手拳で父の顏面を毆打、其の足で平市字六軒門に囲われている佐太郎の愛妾山中よし（三〇）方に鐵棒を振つて暴れ込みタンス三サオ、ミシン、鏡台等五万円相當をぶちこわし二十六日平市署へ御用

電燈線盜難

二十七日午前五時頃赤井村大字赤井字諸荷地內の夏井川を橫斷して赤井から平窪に通ずる五ミリ低壓電燈線百八十米（三千六百円相當）が何者かに切斷され盜まれた、同線は保護線として使用していたもので附近の民家への送電には影響なかつた

江名に初水揚

秋刀魚は豐漁豫想

秋刀魚シーズンに魁けて本縣初の水揚船江名町加澤万五郎氏所有の万勢丸（三五トン）は二十七日未明北海道襟裳崎沖の漁場からサンマ四百貫を積んで江名港に入港した、これが本縣への初水揚げで水揚げ貫當り二百八十円から三百円、魚屋の店先では五百円と云つたところ、同船は燃料補給に歸港したものでサンマは直ちに縣內各地に出荷された

また秋刀魚船團の第二陣として江名町中之作吉田庄五郎氏所有の新榮丸（四十トン）は一万貫、江名町白土德兵衞氏所有の良徳丸（四十トン）は五千貫と各々サンマを滿載して二十八日中には母港へ入港する旨入電があり、濱はサンマ景氣でお祭り騒ぎを演じ大賑わいを呈している、同船團

重役が詐欺

容疑で擧る

東京都文京區根津西須賀町一六會社重役高橋常三郎（五七）は二十二日詐欺の容疑で平市署に檢擧された、根津は先に無錢宿泊で平市署に捕まつた東京都新宿區戶塚町ブローカー瀨川晴弘（四七）同品若荷谷町ブローカー星利雄（四八）の兩名を七月二十八日から九月十三日まで四十八日間の宿錢六万二千円相當の支拂を保證して市內虎屋旅館に宿泊せしめたもので更に島根縣大社町いなば旅館でも瀨川ら四十八日間の宿錢三万五千円を保證して宿泊せしめ、高橋はその間小名濱海岸近邊の海中から引揚げた非鐵金屬の密賣をしてたものである

天氣予報

二十九日

【今晩】南よりの風、曇勝ちで所により俄雨がありましょう
【明日】朝のうち南よりの風日中西よりの風となり晴間も出てきましょう、海上は南よりの風により風波がやや高いですから船舶は注意

秋！味覺の秋…
ブラジル
【出前迅速】
平・並木通り電九九〇

外科 肛門科
上田醫院
平市南町（平局裏通） 電話一二一九番

☆急募☆
玩具部 女店員
年令 滿十八才以上
學歷 高女卒以上
面會日 九月五日本人履歴書持參
但 平市內住居の方
壽百貨店 平驛前 電六五六

純粹輸入原料を使用し
品質世界市場に躍進！
リスカレー
リスコショー リス洋カラシ
リス七味唐カラシ
全國デパート．食料品店にて御用命を！

御要望に應え第二陣來演！
東京ニューセントラル スペシャル・ショウ
「ニュー・ルック」ストリップ競演
★ストリップ界の先驅者NO1 ヘレン・瀧
ナンシー・キャロル
アンナ・美谷
アーサー・ルリ
★ムーランルージュの花形歌手 白鳥桂子
★樂園ニュー・セントラル
映畫は新東寶音樂映畫『あこがれのハワイ航路』
岡晴夫 美空ひばり 古川ロッパ アチャコ
キドシン 杉山美子 柴田早苗
9月30日・10月1日〔2日限〕平文化劇場

明月（ユーモア 月と對談）

吉屋貞一

『お月樣今晩は、御無沙汰致しました、仲秋の明月も曇りで困ります、春のおぼろ月夜は風流ですけれど、秋だけはハッキリと拜顔の光榮を得たいものと存じますが、花には嵐、月に雲で、ままならぬは浮世の常とあきらめました』

するとお月樣は例のように円滿な玉容の慈眼に微笑を浮かべ給うて『暫くだな、相變らず氣焔を擧げるが、近頃地球の景氣はどうかね』『大變ですよ、また戰爭が始つております、そのため人の心が落ち付かないで、世の中が亂れがちですが、何か妙藥はありませんでしょうか』『別に藥は無いが、人間が落ち付かないから、戰爭が起きるんだよお互が慾張るか、一方だけが橫暴のため爭うわけだろう』『昔は物慾とか領土の擴張が原因でしたけれども、現代は思想の相異から戰爭になるようです』『思想戰と云つたところが根本は物質から出發しているようだね、人類が五慾を統制しなければ眞の平和は來ないだろう』とお月樣は靜かに顔を曇らせられた。

『原子戰爭は人類の危機だから、この兵器の使用を禁ずる考案も現われています』『いくら原子爆彈を封じても、外に猛毒ガス彈、細菌戰が行われたら慘害は止まないよ、また原子戰は恐ろしいから戰爭を廢止しようという平和論は基礎が薄弱なようだ、人類愛のための戰爭放棄が一番力強いと思うが、君はどんな考えかね』『お說の通りです』と相槌をうつと、お月樣は御機嫌よく『おい團子を持つて來なさい』と命じられ、見あげるほどの大白兎が大皿に山盛りのお團子を運び、一禮して去る。

お月樣はシンミリした御表情で『わたしも大昔に、ふとしたことから、地球の一角から飛び出して一星則ち一家を創立したもので、拔け出した跡のくぼみに水が溜つて大洋になつたわけだ、然し故郷忘じ難しで、何億年の間に陰ながら、夜の世界を照して、ふる里の爲ばかりでなく、わが心の救いとしてもいる』『有り難うございます』『人類も一度は星の世界にも老若があるように、老境に達するだろう、今は血氣にはやつて、騒ぎ廻る時代もあるけれども、無駄な戰爭は早く止めて欲しい』『この頃は全世界の平和を目指して、いろいろの國が連合し、世界の國會と申すような心組みで、國際連合の名で努力しています』『それは結構なことだな、人類愛の結晶として、發展してもらいたい、平和は人類生活の手段でなく、終局の目標だからね、隱居の話とばかり聞かないで人類の光榮ある文化生活は世界平和の實現から始るだろうと、親愛なる地球の人達に傳達してもらいたい』『委細承知致しました』では御免下さい』。

×　×　×

ピニロン誘致で活潑な問答

小名濱町 經過報告會開く

小名濱町ではピニロン工場誘致運動並に二十六年度港灣修築費の豫算獲得運動について町民の協力を得る爲廿七日午後一時半より第一小學校講堂に區長、隣組長の參集を求めこれが經過報告會を開いた、この日集つた區長、隣組長は約五十名で出席率は良好ではなかつたが問題が重大なだけに論議が活潑に行われた、先ず水野町長から總括的な說明あつたのち、それぞれ小野（務）ピニロン工場誘致委員長、立花港灣委員長木村、佐藤（政）兩ピニロン工場誘致委員から報告あり終つて區長、隣組長側から活潑な質問が行われ特に今までのピニロン工場誘致に消費した運動費は十六万四千六百五十三円と小野（務）委員長から發表があつた、主な質疑應答次の通り

【問】―ピニロン工場を誘致するには二十万坪の敷地がいる、町はこの敷地をどこに求めるのか

【町長】日本水素の西側に當るなぎさ、辨別海岸を以つて當てる、ここには四十万坪の適地がある

【問】―町には買收豫算があるか

【町長】―町では敷地を提供するとは云つていない、勿論町有の土地の場合は相當考慮するつもりだ

【問】―電力供給見透しはどうか

【町長】―日和田―平間送電線（十五万ボルト）が出來上れば問題ない

【問】―小名濱は用水が足りないので困ると思うが如何

【町長】―その場合は町と縣と會社が三者一体となつて鮫川その他からの專用用水路を作ることも考えられるしまた現淨水場裂の砂井田の堤を利用しダムの建設も考えられる

【小野（務）】―現在の鮫川疏水は九十七個の水を送つているがうち七十個は灌漑用である、この灌漑水は季節的のものでありある期間を除いては用がないものである、故にこの水を工業用に振向け農繁期の水の必要な場合は渡邊村釜戸地內にダムを建設しこの水を使用すれば支障ないと考えられる、また同疏水の取入口を改善すれば用水の百三十個位の取入れは可能だと思う

【問】―ピニロン工場から出る莫大な石灰殼の捨場所はどこに求めるか

【町長】―その場合は日本水素の西側に運河を作り人工島をこの石灰殼で作るべく小名濱港工事々務所の菅島所長が計畫している、ここも工場地帶にする考えだ

【問】―工場誘致運動費は豫算に組んでないのか

【町長】―三十万円ある

【問】ピニロン工場をめぐつて原の町と小名濱が爭つては本縣から取にがすような結果になりはしないか、むしろ原の町に誘致し小名濱には分工場でも持つて來てはどうか

【町長】爭奪戰をやつているのではない、勿論原の町に決つたわけでもないしどちらに工場を建てるかは會社が決めるのであつて一應本町の立地條件を說明し誘致するよう努めているだけで會社側の決定をまつだけだ

【問】―工場を誘致するのは嫁を貰うようなものだ、先ず第一に嫁入りをした日本水素を本當に可愛がつてこそ次の嫁の申込みがあると云うものだ

【町長】―そのように努めている

【問】―これ程重大な段階に來て町は政治的行動によつて今後の打開策を構ずる考えはないか

【小野（務）】―會社では政治家が來ても駄目だと云つているし誘致の條件にかなつた土地に結局建設することに決るものだ

【問】―縣の考え方は大部原の町說に傾いていると思われるのでこの是正に町は努力すべきだ

【小野】―勿論そうだ、郡內選出縣議を動かして大いに其方向にもつて行きたい

【町長】―町としては今後縣と連絡をとり誘致運動を繼續したい、會社の小名濱敷地調査は是非實行して貰う、倉敷レイヨン本社の動きは本町出身者の鈴木正武氏（京都）らの協力を得て情報を得、必要に應じて運動を行い希望を以つて進むことにする

合併促進を強調

埠頭問題 町會でも論議

小名濱商港三千屯岸壁使用場所をめぐつて既報の如く關係者の意見が合わぬため問題となつているが二十六日の小名濱町會でもこの問題を取上げた

林町議から『町當局は今後如何なる態度でのぞむか』と質問があり水野町長は『町としては兩會社を合併させる線で進みたいと考えており、その場合港灣會社の西丸社長についても新會社の相當な地位に起用してもらうよう縣の方にも話をしておいた次第だ、この問題はあくまで合併することになつてすべては解決するものだ』と兩會社の合併促進を強調して町の方針を明らかにした

各町村代表が出席

生活改善の討論會

來月一日

石城郡連合青年會家庭部では十月一日午前九時から地方事務所會議室に管內二十ケ町村の代表六十三名を集めて生活改善討論會を開催、衣食住問題につき各部門に分れて陪審討論を行うことになつた、當日は縣教委平出張所社會教育主事草野仁、高木マタエの兩氏が指導に當る事になつている

遊興飲食稅の主旨徹底

石城地方事務所稅務課では改正地方稅法による遊興飲食稅の徹底を計る爲旅館、料理店カフエー、バー等で宿泊、飲食、遊興した時は經營者から正規の稅領收證の交付を求める樣一般に要望すると共に今後は課員が出張、隨時監理する準備を進めている

赤痢が百五十二名

うち死亡が四十一名

廿一日現在

平保險所では二十一日現在で郡下の赤痢が百五十二名の多數に上り極力これが防除につとめているが、內死亡が四十一名でなお蔓延の兆があり一般の注意を喚起している（括弧內は死亡）

平市二七（五）勿來町六（四）錦村三三（三）植田町一、小名濱町四（一）湯本町一一、內郷町五（一）豐間町九（二）四倉町七（六）草野村三（一）赤井村二好間村五、夏井村一、大野村一（一）大浦村二（二）鹿島村二（二）三坂澤渡二（二）磐崎村一（一）川部村二（一）泉村四（一）計一五一（四一）

軍手を橫領

植田町番所下興行師佐藤仲相事佐藤春信（三四）は二十三年四月八日夕刻平市大町二五古物商（現在無職）渡邊房吉（七四）さんに軍手十双（千五百円相當）を賣つてくれと賴まれたのを橫領した疑いで二十四日平市署に檢擧された

自轉車稅令書

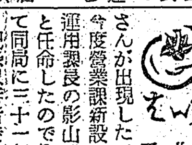
來月初め配布

平市では自轉車稅の徵稅令書を十月五日ごろまで配布する一般用車及び婦人用車の稅金は二百円（年額）競走用車は三百円、三輪車は四百円となつており、市稅條令では納期間は九月十五日から三十一日迄となつているが、事務の忙繁で延々となつたもの、廿日現在で自轉車の新鑑札の交付を受けた者は所有者約四千名と推定される中三千六十三名となつており申告しない者は早急に申込む樣要望している

お歷々の野球戰

來月二日に

平市對湯本町四十才以上お歷々の野球戰は來る十月二日湯本町淺貝常磐球場で開催、優勝カップ爭奪戰が展開される、昨年優勝は湯本町



平電話局に二十五日附で東北で電通省三番目の女課長さんが出現した、電話局では今度營業課新設に伴つて第二運用課長の影山正三氏を課長と任命したのでその後釜として同局に三十一年間勤務という記錄保持者である遠藤ハナ（四四）さんを第二運用課長と任命した、ハナさんは縣內では初の女課長さんとなつたがこれからの手腕如何と同局では注目してる

ラジオ JOCP JOHQ

【29日】ローカル 郡山放送

前七・一五 隨想 富士銀行郡山支店長竹下隆夫

後六・三〇 縣政便り『赤い羽根運動始まる』縣共募委事務局長谷川重三

後七・三〇 鄉土の夕（一四〇）＝組合に於ける婦人の地位向上＝郡山二中敎諭阿部ハルエ、全專賣勞組郡山支部片野キヨノ、郡山放送劇團

久 釜屋商店 平市五丁目 電九・九九・九九九

内科 外科 若松醫院 平市大町23 電505

玉壽司 平三 電五七五

みのりの秋に 幸運は誰に！ 第8回 常陽の幸運定期 特賞100000圓 從來より當籤率が良くなりました 1口1000円 6カ月 常陽銀行

いよいよ燃料の需要期になりました ◎御註文をお願いします 優秀 ミツウロコ 木炭 煉炭 棒炭 薪 市原商店 平市一丁目電244 木炭倉庫 平市才槌小路電499

トウヨウ ナイトショウ 甘ったるい歌聲が男を殺す！ 非常ベル鳴り響くパリ警視廳！ 1947年ヴェニス監督賞受賞作品 殺人河岸 29・30 1日三日間 ルイ・ジュウベ ベルナール・ブリエ 平館

專門店のおすすめする優良万年筆用インキ メーセンインキ 55円 岡萬年筆店 平市中央通 電三九九

看護婦募集 性病科 外科 産婦人科 久保田産婦人科醫院 小名濱町横町 電二三

時計の御用は 正確で安いと 定評のある 誠光堂へ 修理は迅速丁寧 平市銀座街電988

外科 産婦人科 入院隨意 木村將義 木村寅次郎 木村醫院 平市新川町一九（電一六四）

處方調劑 下痢一般 平五 平藥局

內科 小兒科 三井醫院 平市仲田町六九 三井五郎 電六一五

安くてうまい 中華そば 和食洋食 折詰 【出前迅速】 平会館 三丁目 電六二四